

令和元年度 第8期 耕人塾 第12回 『耕人塾』

[日 時] 令和元年11月16日（土）18:30～20:30

[場 所] 矢本東市民センター

[テーマ] 「茶道を日常生活に生かす」

[使用したテキスト] 『耕人』 8-7号.pdf（塾長から塾生へのメッセージ）

[活動内容詳細]

●塾長挨拶（木村塾長）

これまでの活動を見て、一人一人が成長してきているのを感じます。今年度のコンセプトである「主体・楽しさ・創造」は様々な活動の中で見ることができました。様々な活動を実施するにあたり、多くの方々が水面下で動き、皆さんの活動を支えてくれています。その方々に対する感謝の気持ちを忘れないでほしいことを塾生に伝えました。



今回は、矢本東市民センターで開催しました。真剣な表情で開会行事に参加している塾生

<塾生に伝えた内容>

先日、耕人塾1回生の三浦 健 君から岩手県小学校教員採用試験に合格したという報告があり、耕人塾で学んだことや出会った仲間のお陰だと言っていました。健君には、学校を支える先生になってほしいことと、耕人塾の塾生にメッセージを書いてほしいことを伝えたところ、1週間後にメッセージが届きました。（耕人 第8-7号に健くんのメッセージを掲載しています）

本日は茶道体験です。体験を通して、新たな学びをしてほしいと思います。

●茶道体験【60分】

毎年、耕人塾では、表千家教授石田邦子先生から日本の伝統文化やそこに流れる精神について、塾生に分かりやすく教えていただいています。



始めに、講師の石田邦子先生から、挨拶の仕方（座礼）や「一束立ち」の仕方を教えていただき、塾生は数回練習しました。



次に、一人一人に茶碗が配られ、茶碗の正面の見分け方を教えていただきました。一つの柄がある茶碗であれば、柄のあるところが正面であり、複数の柄があったり、無地であったりすれば、自分で正面を決めるとのことでした。その後、お茶の飲み方や懐紙の使い方を丁寧に教えていただきました。



茶道では、礼儀作法が大切ですが、人に対する思いやりのある挨拶が大事であることを教えていただきました。挨拶には、「お先に頂戴いたします」「お点前頂戴いたします」「もう一服いかがでしょうか」などがあり、どの言葉にも相手に対する思いやりの気持ちが込められているとのことでした。特に、「お先に」という言葉は、日本にしかないマナーであり、日常生活でも使える言葉なので忘れないでほしいとおっしゃっていました。

また、石田先生は、飾られている掛け軸について説明してくださいました。掛け軸には、「和敬清寂」と書いてあり、「その場にいる全ての人の心を和らげて相手を敬うこと」、「茶会で使う場所や道具、雰囲気も清らかにすること」という意味があるとのことでした。飾られている掛け軸やお花にも、おもてなしの心が込められているので、しっかりと見ることも教えていただきました。

いよいよお茶をいただくことになりました。塾生はきちんと正座で座り、これまでに教えていただいた挨拶やお茶の飲み方を思い出しながら、京都から取り寄せたというお菓子と、点ていただいたお茶を一人一人いただきました。とても落ち着いた雰囲気の中で体験することができました。

●講話（表千家教授 石田 邦子 氏）



石田先生は、お茶を初めていただいた塾生に感想を聞いた後に、次のような話をしてくださいました。

お茶というのは、「衣・食・住」すべてに関わっています。「住」に関して言えば、茶室の造りにも特徴があり、もてなす側（亭主）と、もてなしを受ける側（お客さん）が座る場所の天井の高さも違うのです。また、「お先に」という言葉は日本だけのマナーであり、相手に対する思いやりの気持ちを表すための言葉です。これは、普段の生活でも使えるはずで、例えば、並んでいる時に、次に待っている人に「お先に」と言ったり、出入口から同時に入る時に「お先に」と言ったりしてみてください。とても良いマナーなので、皆さんには自然と言え人になってほしいです。誰に対しても思いやりをもち、相手を敬う気持ちを大切に、何をやるにも前向きにやってほしいです。そうすれば素敵な日々が過ごせるはずで。

石田先生の言葉に塾生らはしっかりと耳を傾け、真剣な表情で聞く姿が見られました。

●茶道体験の振り返り

本日の茶道体験や講話を通して学んだことを班で伝え合い、全体で共有することができました。



塾生は、個人ごとの振り返りシートに、茶道を体験してみたの感想や石田先生の講話を聞いて学んだことなどを記入し、グループでの共有を図りました。

【塾生の声】

- 初めての体験だったので、上手にできないことがあったけど、茶道の礼儀作法を学ぶことができてよかった。またいつか茶道をしてみたい。
- お茶の飲み方や挨拶の仕方を知れてよかった。「お先に」という日本のマナーがあることを初めて知ったので、生活の中で使ってみたい。
- 茶道には、相手を思いやる言葉や作法があることを知りました。日常的に、相手を思いやる気持ちを行動に示しながら、自分を更に成長させていきたい。

●講評（川村アドバイザー）

茶道体験をしている塾生の姿を見て、真剣に取り組めている様子が伝わってきました。皆さんは、実際に茶道を体験している際に、多くの人たちが支えてくれていることを頭に思い浮かべながら体験することはできたでしょうか。

講師の石田先生、会場の準備をしてくださった方々、お茶を点ててくださった方々、様々な人々の支えで、皆さんは活動することができています。

何をするにも、考えながら行動すると意味深くなります。様々なことをイメージすることを大切に、考え続ける人になってください。

メニュー

| | |
|-------------------|---|
| ホーム | ▼ |
| 耕人塾の活動 | ▼ |
| 令和2年度の活動 | > |
| 令和元年度の活動 | ▼ |
| 第13回 「耕人塾」第8期 閉塾式 | |
| 第12回 | |
| 第11回 | |
| 第10回 | |
| 第9回 実践活動 | |
| 第7・8回 宿泊研修 | |
| 第6回 実践活動 | |
| 第5回 | |
| 第4回 実践活動 | |
| 第3回 | |
| 第2回 | |
| 第1回 開塾式 | |
| 平成30年度の活動 | > |
| 平成29年度の活動 | > |
| 平成28年度の活動 | > |
| 平成27年度の活動 | > |
| 平成26年度の活動 | > |
| 平成25年度の活動 | > |
| 平成24年度の活動 | |

